

交流人口拡大における 新年度の見通しについて

松本 精一 議員(礎)



松本議員 26年度は合宿等の誘致、能登和倉万葉の里マラソンは継続ですが、自治体サッカー、ヨット選手権など、今年度と比べ項目、会議等が少な

いような気がします。当然、全国規模の会議や学

会ではありますが、新年度は約1,400人、交流人口の拡大施策の見通しはどうか。また、経済波及効果についても伺います。

不嶋市長 26年度の交流人口は全国自治体サッカー選手権大会の誘致などを



能登和倉万葉の里マラソン

万行土地地区画整理事業について

山崎 智之 議員(市民クラブ)



山崎議員 行政が保留地処分を支援する方法は幾つかあると考えます。その中でも速やかにできるものを、農地に活用できるように、行政が支援すべきではないでしょうか。手続きを簡略化するなどさ

まざまな支援方法があると思えますが、見解を伺います。いずれにしても、世界産業遺産に認定された能登の里山里海ということや、6次産業化の推進という観点から、宅地以外の方法で就農という新たな使い道も考えなければならぬと思えますし、万行地区の広大な保留地を組合に全て任せるとい

うことは絶対にあつてはいけないと考えています。また、貸与することに

ついては、全てを売却しなければ事業は完了できないということから、万行地区の土地画整理組合では貸与する考えはないと聞いています。



万行地区土地画整理事業

農業振興について

高僧 弘 議員(灘会)



高僧議員 これまでは小規模な農地を高齢者が守り、生産調整に励み、保全管理に取り組んできました。農道・水路の維持は、地域の農家が協力し合っ

てこそ維持できたものと思います。能登地域は、里山里海の縮図と言える地域であり、その里山里海を保全継承するための農業遺産認定であろうかと思

います。もし、耕作放棄地が増えると、農業遺産認定に汚点を残す恐れがあると思えます。そこで山間地の保護、棚田の保全策について伺います。

不嶋市長 山間地における棚田を含めた農地の維持管理、保全活動に対する支援策としては、平成22年度から中山間地域等直接支払制度の3期対策を実施して取り組んでい



市内の棚田

認知症カフェについて

伊藤 厚子 議員(無会派)



伊藤議員 2月に認知症カフェ「ラミヨ」へ視察に行ってきました。月に2回、1人300円の参加費で認知症の人とその家族の人だけでなく、介護士、看護師、医師、保健士、ボランティアなど、認知

症に関わっている全ての職種の方々が参加していただきました。認知症の人にとってミニサービスにもなっていて、本人たちはゲームや体操、その間に家族は医師や介護士に相談したり、同じ家族同士で悩みを聞いてもらったりしているとの

ことでした。今後、市でも認知症カフェを各地域で立ち上げられないか。また、できるだけきめ細かに取り組んでいただきたいと思

います。また、必要に応じ認知症の正しい理解や介護方法等について、専門の方からアドバイスを受ける機会も設けていきたいと思



市内の認知症カフェ